

経カテーテル的大動脈弁置換術後の残存僧帽弁逆流の増悪因子と予後に与える影響に関する研究

1. 研究の対象

2013 年 12 月～2022 年 7 月に当院で経カテーテル的大動脈弁置換術を受けられた方

2. 研究目的・方法

大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁置換術を行った後に僧帽弁逆流症が悪くなると、そうでない場合に比べて術後の成績が悪いことが知られています。この研究は僧帽弁逆流症が悪くなる原因となる因子の特定とそれらが心臓関連死や心不全再入院発生といった事象に与える影響について検討することを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：血液学的検査

情報：手術時年齢、性別、内服薬、手術前後の心臓超音波検査、使用した弁の種類やサイズ、手術後の心不全再入院や死亡の有無等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町 2-5-1

電話：086-225-7111

研究責任者： 心臓血管外科 平岡 有努

担当者： 心臓血管外科 池田 諒